



回覧

いらっしゃい! こうみんかん



栃木市藤岡公民館だより 3月号

立春の候、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

早いもので、この公民館だより「いらっしゃい! こうみんかん」も今年度11号、最終号を迎えました。ご愛読ありがとうございました。3月発行の4月号はありませんのでご了承ください。

現在、来年度の公民館講座等の計画作成に取りかかっているところです。皆様に喜んでいただけるような講座等を検討中ですが、皆様のご要望がありましたら、公民館事務局にご一報いただけたら幸いです。

【とちぎの歴史探訪 岩舟町小野寺地区】

1月21日(火)第3回目の『とちぎの歴史探訪』を行いました。今回は岩舟町小野寺地区を見学しました。大慈寺・村檜神社を岩舟町在住で郷土史家の永島正夫先生に、慈覚大師誕生の地を市文化財保護審議会委員の尾島忠信先生にご案内いただきました。特に、村檜神社は県内でも珍しい三間社春日造と檜皮葺の社殿の説明に「身近に貴重な社殿があるとは」と感動しつつ、受講生の皆さんは熱心に聞かれています。大慈寺にはライシャワー大使来訪記念碑もあり、慈覚大師の偉業は海外にも知られていることが分かります。

次回2月18日(火)は、蛭沼大柵塚大型古墳他を見学予定です。これは、台風19号の影響で中止になった10月15日(火)の講座です。



【節分】

そもそも節分とは、季節の分かれ目である、立春・立夏・立秋・立冬の前日のことです。実は2月3日の節分(立春の前日)以外にも年に3回あります。昔から2月の節分は、新しい年を迎える立春の前日として特に重要とされてきました。室町時代くらいからは、立春の前日だけを節分と一般的に呼ぶようになったようです。

新しい年の始まりと聞くと元旦を想像される方も多いかもかもしれませんが、旧暦では、新年は2月4日から始まります。



昔は、季節の変わり目に鬼がやってきて、病気や災害など嫌なことを起こすと考えられていました。鬼に嫌なことを起こされないために、季節の変わり目には、精霊が宿るとされた大豆をまき始めたそうです。豆は魔(ま)を滅(め)するとも読め、鬼が集まってきやすい節分に豆をまいて、無病息災などを願いました。

【デュークズウォーク】

2月6日に『デュークズウォーキング講座』全3回が終了いたしました。ウォーキングスタイルリストの筒深旭人先生の指導のもと、正しい姿勢と呼吸法で歩くことにより、身体のバランスを整えます。組んだ両手を上げ、一本の線上を歩くつもりで体をくねらせながら進む様子はセクシーで、皆さんファッションモデルのようでした。



【恒例初市祭巡回見守り活動】

藤岡子どもネットワークでは毎年藤岡初市祭において、見守り巡回活動を実施しています。

今年も少年補導員と合同で藤岡大通り会場において初市祭会場の見守り巡回を行いました。

藤岡町商工会、栃木市観光協会、ハートランドまちづくり隊の皆さんの活躍で、一時期寂しくなった出店もだんだん増えて、盛り上がってきていました。



【3月の講座をご紹介します】

○ 美味しい珈琲入れてみま専科講座【3月9日（月）】午前10:00～12:00

講師：木村玲子先生（珈琲音-KAHIAN-チーフ）

定員：各20名

内容：コーヒー豆の種類、選び方、産地によるコーヒーの特徴や味の違いなどを学び、リラックスした時間を過ごしませんか。この機会にぜひご参加ください。

【地域教育協議会】

2月4日（月）「藤岡アシストネット藤岡地域教育協議会」を開催いたしました。

この協議会は、「とちぎ未来アシストネット」の藤岡地区内での取り組みで、各学校長、地域コーディネーター（10名）、地域住民の代表（藤岡シティ青少年健全育推進部会、読み聞かせボランティア、コロポックル、ハードル会）、公民館長で構成されています。

「あなたの力を地域の子どものために」を合言葉に、家庭、学校、地域の連携を図り、地域にある教育力を地域の子どものために生かすとともに、活力あるまちづくりを目指しています。今回は令和元年度の事業報告を行うとともに成果と課題を確認しました。

